

令和4年6月
第5回清水町議会定例会一般質問事項

質 問 者	質 問 事 項
議 席 氏 名	
4 中河つる子	<p>1 公営住宅の申込要領の借り換え条件の一部緩和について</p> <p>公営住宅に入居している人は、長年にわたり入居している人もいる。その間に年齢を重ね、車の免許を返納するなど、入居者の生活条件も変わってきている。そんな中で親族の住む近くの公営住宅へ転居したい、また子どもの方から自宅近くの公営住宅に来てほしいとの要望もある。</p> <p>現在の申込条件では、「介護または看護のため」なら、借り換えは認められている。その条件の中に新たに項目を加え、高齢になった人が借り換えをしやすくするように緩和をする考えはないか。町長の考えを伺う。</p> <p>2 「生理の貧困」対策について</p> <p>昨年9月議会で「経済的な理由で、生理用品の入手に苦しむ生理の貧困があり、小、中、高校、公共施設の女子トイレの個室に生理用品を置くべきでないか。」と質問したが、「保健室に生理用品を備えることで対応し、養護教諭等と相談できる体制を整えることで、貧困の状況にある児童生徒の把握と必要支援につなげていきたい」との返答だった。</p> <p>教育長に伺う。</p> <p>(1) 養護教諭等との相談体制の中で、貧困の状況にある生徒の把握はでき、支援につながっているか。</p> <p>(2) 十勝管内でも新年度から帯広市の全小、中学校、市立高校をはじめ、芽室町、広尾町と女子トイレに生理用品を置くことが広がっている。コロナ禍は依然として続き、物価上昇など生活が圧迫されている中で、児童生徒が安心して通学できるように、本町でも小、中学校のトイレ個室に生理用品を置くべきではないか。</p>

質 問 者		質 問 事 項
議 席	氏 名	
3	山 下 清 美	<p>1 清水が目指す脱炭素社会について</p> <p>今年度の町政執行方針で、2050年に温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを目指し、町内における再生可能エネルギーの利活用促進と省エネルギーを推進し、脱炭素の取り組みを進める。と表明している。</p> <p>農産工業のまち酪農のまち清水町ならではの脱炭素の取り組みが必要と考える。</p> <p>そこで、年度当初の進捗状況並びに実施に向けた方向性について町の考えを伺う。</p> <p>(1) 昨年度、5つの項目を提示して全課に関連する事業を検討し集約した内容の詳細、並びにこれを受けての今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 地域再エネ導入戦略策定の事業進捗状況を伺う。</p> <p>(3) 「ミライに繋ぐ”ゼロカーボンとかち清水”」が目指す清水町にマッチした脱炭素社会の具体的なイメージを伺う。</p> <p>2 弱者対策について</p> <p>今年度の町政執行方針で、少子高齢化が進行する中、町民の健康増進や福祉の向上のために、予防対策や自立支援の充実、地域と一体となった切れ目のない子育て支援などにより、安心して子どもを産み育てることができ、そして、すべての町民が支え合い、健やかに生活することができるまちを目指す。また、障がいのある方が地域で安心して自立した生活ができるように、障がいへの理解促進と相談支援体制の充実を図る。とある。</p> <p>清水町のような小さな町だから、行政に届きにくい弱者の声なき声にアンテナを張り、身近な困りごとに応え、思いやりを持って支え合う地域にならないといけないと思う。</p> <p>そこで、ひきこもりの方、障がいのある方、高齢の方など現代社会において弱い立場にある方々と共に支え合う生活ができるまちに向けた考えを伺う。</p> <p>(1) ひきこもりの実態を把握調査、また専任担当者配置の必要性についてのその後の取り組みを伺う。</p> <p>(2) 弱い立場の方々の自立支援について、今年度取り組む具体的な施策を伺う。</p>

質 問 者	議 席 氏 名	質 問 事 項
6	佐 藤 幸 一	<p>1 特殊詐欺の実態と防止対策について</p> <p>全国では毎年多く特殊詐欺が発生し、多額の被害が生じているが、本町の実態と防止策について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 町内における特殊詐欺の件数、被害額について (2) 関係機関との連携や防止対策の取り組みについて (3) 被害防止対策の一つとして自動通話録音装置の設置があるが、購入助成の考え

質 議	問 席	者 氏	質 問 事 項
9	中島里司	<p data-bbox="534 255 1165 297">1 物価高騰等による予算の適正執行は</p> <p data-bbox="534 353 1391 439">現在、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による物流等の停滞により半導体の不足など諸物価の高騰が続いている。</p> <p data-bbox="534 450 1391 535">さらに、国際情勢により原油価格も高騰し、原油関連商品を含む諸物価がさらに高騰を続けている。</p> <p data-bbox="534 546 1391 730">今年度の予算編成は、基本的に国際情勢の悪化前の時点での単価等により積算されていると思われるが、その予算内で適正な発注を行うことは難しいのではないかと。物価高騰により当初予算の一部見直しが必要と思う。</p> <p data-bbox="582 741 1391 925">(1) 半導体の物流が滞り、また木材を含む建築資材等の価格が高騰している現在、国際情勢悪化前に積算した今年度予算の範囲の中で適正な価格での発注ができているのか、具体的に伺う。</p> <p data-bbox="582 936 1391 1070">(2) 小麦を始めとする食材が今後も価格高騰を続けるとの報道がなされているが、給食が今のレベルで続けていけるのか。</p> <p data-bbox="582 1081 1391 1216">(3) 委託事業などは、物価高騰や最低賃金の上昇により契約時と状況が変わることが予想されるが、その場合の負担は受注者の負担となるのか。</p>	

質 議	問 席	者 氏	質 問 事 項
5	鈴木孝寿	<p>1 日勝峠展望台トイレの今後の予定について</p> <p>本年3月議会において日勝峠展望台のトイレの閉鎖方針から継続へのお願いをしたところだが、現在の状況を伺う。また、景勝地としての日勝峠展望台に来訪される方々からも再開の声が聞こえるが、今後の清水町の観光の位置づけについて町長の考え方を伺う。</p> <p>2 てんさいの減産協議における今後のまちづくりの考え方について</p> <p>コロナ禍において砂糖需要の低下に伴い、また、以前からの健康ブームで消費が落ち込む状況下において、てんさい作付そのものの減産協議が現在行われている。農業と農産加工の町として発展してきた本町において、作物としてのてんさいと、その加工を担う製糖工場の位置づけは極めて重要である。今後のまちづくりに多大な影響を及ぼす状況に対して町長の考え方を伺う。</p>	

質 問 者	氏 名	質 問 事 項
議 席	氏 名	
2	川 上 均	<p>1 GIGA スクール構想の現状と課題に対する取り組み</p> <p>全国でコロナ禍により昨年4月から前倒しで取り組まれたGIGAスクール構想を受け、町においても令和3年3月に策定された「清水町におけるICT教育推進の指針」に基づき、小学1年生から中学3年生までの9年間の連続したICT教育の取り組みが進められている。</p> <p>そこで1年経過した現在、ICT教育の推進状況とそれに伴う課題、教職員の働き方改革への影響も含め、これらに対する取り組みについて教育長の考えを伺う。</p> <p>2 介護保険施設入所者の補足給付制度の見直しによる実態と対応は</p> <p>昨年8月1日から介護保険施設入所者の「食費」「居住費」などの補足給付制度の見直しが行われ、約1年が経過しようとしている。</p> <p>特に年金額が月10万円を超えた場合の食費の負担額は月2万円、年24万円を超える高額となり、かなりの負担増となっている。</p> <p>そこで、これら現状の把握及び今後の対処について町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 見直しにより預貯金要件などの厳格化で、今まで補足給付されていた入所者が対象からはずれる、または「食費」「居住費」の負担増となる入所者の実態は把握されているのか。</p> <p>(2) 昨年9月から実際に8月分の請求があり、本人家族を含め入所者の退所や入所希望者、または短期入所などに支障を来していることはないのか。これらに対する施設を含めた相談体制は十分整備されているのか。</p> <p>(3) 今回の負担増で実際に生活が厳しくなった場合、負担を軽減する方法として、社会福祉法人等による低所得者に対する利用者負担額軽減制度等があるが、清水では活用されているのか。</p> <p>(4) その他の福祉制度等を活用し、少しでも負担軽減する方法はないのか。</p>

		<h3>3 合同墓に対する町民アンケート調査の実施及び「終活支援事業」の取り組み</h3> <p>「合同墓」の設置については従来から一部町民からの要望が強い反面、町では設置の議論が進んでいない。しかし、管内でも「合同墓」の取り組みは徐々にではあるが進んでいる。</p> <p>そこで、「合同墓に対する町民アンケート」のような町民の意向調査の実施及び今後の合同墓設置に対しどのように考えているのか。</p> <p>また、高齢化社会はひとり暮らしをする方の増加にもつながり、このような方の不安はお墓だけではなく、病気やケガ、買物、日常生活の生前サポートから、死後は葬儀・財産処分・部屋の後片付けまで多岐に渡るなど、切実な問題として浮かび上がってきている。</p> <p>これら死後事務までサポートする「エンディングサポート（終活支援事業）」を取り組む自治体が全国でも出てきている。町においても今後必要性が増してくると思うが、この事業を調査検討し、将来に向かって取り組む考えがないか町長の考えを伺う。</p>
--	--	---